

分野	上下水道	施策	上水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P57

施策の展開（大項目）	1安全な水道の供給					
KPI （指標）	水質検査項目の水質基準適合達成率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値(令和7年度)
			結果	結果	結果	
維持	100%	100%	100%		100%	

中項目	1水質管理体制の強化		分野計画参照ページ	水道-60
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<b>水質管理事業</b> 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質検査項目の水質基準適合達成率は100%を維持した。</li> <li>ガスクロマトグラフ等の水質分析機器の定期的な保守点検を実施した。</li> <li>水安全計画に基づき、水安全会議を開催した。令和3年度中に発生した送水業務に関する事案2件（雷対応、瞬時停電）や水質監視業務（濁度の上昇）の事案について、振り返りを行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、水質分析機器の精度を維持するため、定期的な保守点検を実施する必要がある。</li> <li>水質分析機器の操作技術を維持するために、大阪府の外部精度管理に参加し、分析技術の向上を図る。</li> <li>濁度色度は水質基準値よりも厳しい監視値で独自の管理基準を設定しているが、その値を越えた際の対応を従来より検証していたため、発生事案に問題なく対応できた。</li> <li>今後も問題事象が発生した際には、継続して振り返り検証を行う必要がある。</li> </ul>	
<b>給配水管維持管理事業</b> 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページに受水槽の適正管理に関する啓発ページを掲載している。</li> <li>令和3年度は受水槽管理について問い合わせが1件あり、説明を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受水槽の管理不備が原因となる問い合わせは1件にとどまり、適正に管理されていると考えられる。</li> <li>引き続き、継続的に啓発に努める。特に8年毎に行われる量水器の取換の際、受水槽が設置された建物管理者に適正な管理を行うよう働きかけを行う。</li> </ul>	

分野	上下水道	施策	上水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）		行政経営戦略参照ページ	P57

施策の展開（大項目）	2水道水の安定供給					
KPI（指標）	配水池の耐震化率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	54.5%	54.5%	65.9%		77.3%
KPI（指標）	基幹管路の耐震適合率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度結果	令和3年度結果	令和4年度結果	目標値（令和7年度）
	増加	31.2%	32.4%	35.0%		41.5%

中項目	1複数水源による水道水の供給		分野計画参照ページ	水道-62
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
太中浄水場管理運営事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>各井戸の水位低下と揚水量を管理し、目詰まりの生じている井戸の調査を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>複数水源を確保するためには、自己水を永続的に利用できることが重要であるが、年々、井戸の揚水能力が低下している状況である。</li> <li>今後も目詰まりが生じている井戸を見極め、洗浄を実施していく。</li> </ul>	
配水管整備事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水区域を容易に区分け出来るよう、正雀一津屋線と十三高槻線との交差点部で配水管の接合工事を実施した。</li> <li>給水区域の区分けを行う準備として、2つの仕切弁を閉止した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>配水管のレイアウト上では、十三高槻線を境に太中浄水場と中央送水所との給水区域を分けることが可能になった。</li> <li>自己水の太中水系でどの程度の範囲まで給水可能か調査する必要がある。</li> </ul>	

中項目	2危機管理体制の強化		分野計画参照ページ	水道-63
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
施設改修事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央送水所1号配水池更新工事において、応急給水拠点に必要な緊急遮断弁の工場製作を開始した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央送水所が新たな給水拠点に加わるため、災害時等に十分機能を発揮できるよう中央送水所の場内配置を検討する。</li> <li>千里丘送水所、鳥飼送水所の緊急遮断弁の老朽化が進んでおり、劣化状況や交換部品の製造状況などを調査する。</li> </ul>	

<p>太中浄水場管理運営事業 水道施設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家発電機に利用する燃料の備蓄状況を常に把握し、燃料タンクの上限近くまで燃料を確保した。</li> <li>・非常用発電機の燃料確保のため、緊急時に燃料を配送する業者とのヒアリングを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太中浄水場と千里丘送水所の非常用発電機は、燃料備蓄量の関係から半日程度しか稼働できず、長時間の停電に対応できない状況である。</li> <li>・災害時に燃料調達する方法以外に、燃料タンク容量を大きくする方法も視野に入れ、比較検討する必要がある。</li> </ul>
<p>防災対策事業 経営企画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組立式給水タンク設置訓練の中で、資材に劣化や不具合等がないことを確認した。</li> <li>・備蓄水の保管期限に合わせて、企業団配布分、購入分合わせて6,024本(251箱)を入庫した。</li> <li>・組立式給水タンクの設置研修を開催した。</li> <li>・和歌山市水管橋崩落事故への応援給水に係る意見交換会へ参加した。</li> <li>・令和3年度の人事異動に合わせて担当配置の見直しを行った。</li> <li>・大阪広域水道企業団と締結している災害応援協定を更新した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、目標数となる組立式給水タンク14基、緊急用給水栓14基、非常用飲料水袋6,000袋を確保できている。</li> <li>・上下水道ビジョンの中間見直しに向け、目標水準の妥当性を検証する。</li> <li>・令和3年度末の備蓄水在庫は28,200本(1,175箱)となり、目標数24,000本を確保できている。引き続き目標数以上の在庫を確保するとともに、適切な維持管理に努める。</li> <li>・引き続き災害を想定した各種訓練を実施する。</li> <li>・国、府の動向を注視し、各マニュアルが更新された際は、危機管理計画に反映する。</li> <li>・各課にて策定したBCPを踏まえ、危機管理計画の更新を行う。</li> <li>・現在検討している包括民間委託において、委託業者との災害応援協定の締結を検討する。</li> </ul>

中項目	3耐震化の推進		分野計画参照ページ	水道-65
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<p>施設改修事業 水道施設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央送水所1号配水池更新工事が完成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池の耐震化率が54.5%から65.9%となった。引き続き中央送水所2号配水池の耐震化を進める。</li> </ul>		
<p>配水管整備事業 水道施設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太中浄水場内において浸水箇所を特定するために、高さの測量（水準測量）を実施した。</li> <li>・測量結果と外水ハザードマップの想定浸水水位から、浸水する高さを確認した。</li> <li>・新在家地内で222mの基幹管路の耐震化を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、確認された浸水高さにおいて、太中浄水場の建物内への浸水を防止する方法や使用する資器材など、具体的な対策について調査、研究を進める。</li> <li>・鳥飼送水所と中央送水所間を結ぶ基幹管路の更新は計画的に進めており、今後も継続的に施工を行う。</li> <li>・今後の更新予定箇所では、既存のルートでは地下埋設物が輻湊しており埋設不可能な区間があり、経路の変更を予定しているが、当初計画延長より経路が長くなることから、計画期間の延長も視野に入れる必要がある。</li> </ul>		

中項目	4水道施設の更新		分野計画参照ページ	水道-66
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<b>施設改修事業</b> 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央送水所1号配水池更新工事が完成した。</li> <li>・千里丘送水所受変電設備更新工事において、令和4年度に納入予定の受変電盤の製作を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千里丘送水所受変電設備更新工事において、施設を運用しながら設備更新を実施するため、市内送水に支障が無いよう計画を立て、安全に新設備への切替を実施していく必要がある。</li> </ul>		
<b>配水管整備事業</b> 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千里丘地域などで管路3,790mを耐震管に更新した。</li> <li>・老朽度の著しい箇所や重要度を勘案して令和4年度の施工場所を検討し千里丘や鳥飼本町等に決定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、重要度に加え、漏水履歴の分析、埋設年度等から更新場所を決定していく。</li> </ul>		

分野	上下水道	施策	上水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P57

施策の展開（大項目）	3サービスの維持・向上					
KPI （指標）	経常収支比率（公営企業会計）（上水道）					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値（令和7年度）
	減少抑制	112.9%	112.1%	107.95%		

中項目	1適切な維持管理		分野計画参照ページ	水道-69
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<p>太中浄水場管理運営事業 給配水管維持管理事業 水道施設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場と送水所の水道施設点検・維持管理要領書を作成した。</li> <li>・管路施設については、修繕記録から破損した管路の埋設年度や修理箇所を市内地図に記録した。</li> <li>・鳥飼上地区で23kmの漏水調査を実施した結果、1件の漏水が発見され、速やかに修繕を行った。</li> <li>・浄水場と送水所の電気設備点検と部品交換を実施した。</li> <li>・太中浄水場内取水ポンプの点検を実施した。</li> <li>・中央送水所2号配水池、鳥飼送水所3号配水池の清掃を実施した。</li> <li>・市内河川の水管橋の点検を行った。</li> <li>・漏水調査器を使用し、鳥飼地域の調査を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・要領書の作成により、点検内容や維持管理項目が明確になった。</li> <li>・管路施設については、修繕記録の可視化により地域による老朽度合が把握できたことから、管路整備の優先順位の判断資料として利用していく。</li> <li>・電気設備は送配水制御を担う設備であり、法定点検を実施し必要な部材の交換を行って、安定的に稼働する状態を維持する必要がある。</li> <li>・池内の水道水が衛生的に貯水されているかの確認をするため、引き続き、定期的に配水池の清掃や池内部の点検確認を実施していく。</li> </ul>	

中項目	2水道事業の健全な経営		分野計画参照ページ	水道-70
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<p>給配水管維持管理事業 経営企画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央送水所外壁改修工事において修繕引当金を活用し、修繕費を抑制した。</li> <li>・令和5年度からの包括民間委託に向け、業者ヒアリングを実施し、委託方針案を策定した。</li> <li>・令和2年度決算を踏まえ、収支見通しを更新した。</li> <li>・大阪広域水道企業団の各会議に参加し、意見交換、情報収集を行った。</li> <li>・北摂市町で構成される北大阪上水道協議会の各部会にて、意見交換、情報収集を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有収水量の減少による給水収益の減少及び固定資産の取得による減価償却費の増加により、経常収益が前年比△33.4%となるも、経費抑制に努めた結果、経常収支比率は目標数値を維持することができている。令和3年度決算を踏まえた収支見通しの見直しを行い、経常収支比率の目標達成に努める。</li> <li>・策定した委託方針案をもとに、委託業務の仕様書を作成、業者選定を行う。</li> <li>・現在の利益水準は、当初策定した経営戦略対比上振れしているものの、計画期間中に赤字が発生する予測は変わらない。新料金システムの料金シミュレーション機能を活用するとともに、経営戦略の見直しの中で適切な料金水準について検討を進める。</li> <li>・引き続き大阪府、大阪広域水道企業団及び北大阪上水道協議会にて開催される各会議や部会を通じて、情報交換、他市動向の把握に努める。</li> </ul>	

中項目	3人材育成等の推進		分野計画参照ページ	水道-72
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
一般事務事業 経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加予定の外部研修が中止となった。</li> <li>・上下水道部内において、異動職員、新規採用職員を対象とした部内研修、上下水道部職員全員を対象とした令和元年度決算報告会をそれぞれ開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の動向に注視しながら、参加可能な外部研修には積極的に参加するとともに、研修報告会を通じて部内で共有を図る。</li> <li>・今後も特殊な施工方法、技術を用いる工事を行う際は、研修会や見学会を開催することで、情報共有を行う。</li> </ul>		

中項目	4お客さまサービスの向上		分野計画参照ページ	水道-73
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
一般事務事業 経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央送水所1号配水池更新工事の様態をタイムラプスカメラにより撮影、また完成した1号配水池の紹介動画を作成し、YouTube上に公開した。</li> <li>・例年環境フェスティバルに出展し、来場者へアンケート調査を実施していたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により各種イベントが中止となり、活動はできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTubeに公開した動画の再生回数増加へ向け、広報、新聞等を通じ宣伝を進める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の動向に左右されるが、当面の間はお客さまと直接触れ合えるイベント等は中止となることが考えられるため、ホームページや広報紙等、新たな媒体を活用した情報収集手法の検討が必要である。</li> </ul>		
水道料金等収納事業 料金課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入転出時の水道の開閉栓申込について、上下水道部HP上でオンライン手続を開始した。</li> <li>・水道料金システムの更新に合わせ、顧客ポータルサイトの構築を検討、公募型プロポーザルにより業者選定、契約を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年1月より新料金システム及び顧客ポータルサイトの運用開始へ向け、委託業者とシステム構築を進める。</li> </ul>		

中項目	5環境への配慮		分野計画参照ページ	水道-74
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
施設改修事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千里丘送水所受変電設備更新工事において、高圧受変電機器を更新するため、省エネ機器である高効率変圧器の製作を開始した。</li> <li>・大阪広域水道企業団からの受水流量を利用した水力発電について情報収集したが、適応する製品がなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も設備の更新の際には、省エネ機器の導入を進める。</li> <li>・本市の規模で費用対効果が得られる製品が見つかるように、今後も調査を行う。</li> </ul>		

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	1 快適な生活環境の創出					
KPI （指標）	下水道人口普及率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	99.1%	99.2%	99.3%		99.3%
KPI （指標）	水洗化率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	95.9%	96.0%	96.2%		96.2%

中項目	1 健全な水環境の創造		分野計画参照ページ	下水-54
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道管理事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道の汚水水質検査を24地点で年6回実施、特定事業場等から流入の汚水水質検査を20地点で年2回実施したが、一部の公共下水道採水点及び事業所では排水基準値を上回っていた。</li> <li>事業者へ排水設備の清掃について改善指導を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>水質改善に向けて、公共下水道については原因特定の追跡調査を行い、事業者に対しては引き続き改善指導を行う。</li> <li>公共用水域の水質保全及び下水道施設の機能保全を目的に、継続して水質検査を行う必要がある。</li> </ul>	

中項目	2 下水道人口普及率・水洗化率の向上		分野計画参照ページ	下水-55
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域の鳥飼八町地区において、汚水管205mを整備した。</li> <li>公共下水道未普及路線の東別府・鳥飼新町、鳥飼上、一津屋地区において、汚水管265mを整備した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥飼八町地区の早期の普及のために汚水整備を進める。</li> <li>鳥飼八町地区を除く未整備区域についても、費用対効果等の検証を行い、優先順位を付けて汚水整備を進める。</li> </ul>	
水洗化促進事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里丘、千里丘東、庄屋、鳥飼八防及び鳥飼西地区の下水道未接続世帯等127件に対して、戸別訪問による啓発活動を実施した。</li> <li>啓発後に水洗化した世帯及び事業所が27件あった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発活動の効果が発現しており、引き続き、環境政策課と連携し、啓発活動に取り組む必要がある。</li> </ul>	

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	2危機に強い下水道の実現					
KPI （指標）	雨水面積整備率					
	推移の方向性	基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値(令和7年度)
			結果	結果	結果	
増加	55.3%	55.3%	55.3%		55.6%	

中項目	1老朽化対策の推進		分野計画参照ページ	下水-56
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に策定したストックマネジメント計画に基づく下水道施設の点検、調査及びマンホール蓋改築工事を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道施設の点検、調査及び浚渫等の維持管理情報の集積、分析を行い、その結果を令和7年度策定予定の第2期ストックマネジメント計画に活用していく必要がある。</li> </ul>	
公共下水道改築更新事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>管口テレビカメラ点検6基、マンホール目視調査511箇所、下水道管渠内テレビカメラ調査16.87kmを実施した。</li> <li>点検、調査結果を下水道台帳システムで管理し、修繕及び改築計画作成時に活用できるよう点検調査記録の形式を統一した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道管渠への取付管接合不良が散見され、調査スケジュールが遅れるケースがあったため、事態を想定した調査手順を検討する必要がある。</li> <li>合理的な修繕、改築計画とするため、引き続き点検結果、調査結果を下水道台帳システムに蓄積していく必要がある。</li> </ul>	

中項目	2浸水対策の推進		分野計画参照ページ	下水-58
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
公共下水道整備事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>東別府雨水幹線建設工事の内、管渠工事を完成させ3月から供用を開始した。</li> <li>東別府雨水幹線周辺の雨水整備に着手した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年6月末の東別府雨水幹線建設工事完成に向け、引き続き工事を進める。</li> <li>引き続き、雨水幹線周辺の浸水被害が発生した地域を中心に雨水整備を進める。</li> </ul>	
公共下水道管理事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発面積が5000㎡以上となる大規模開発に対して、雨水の流出抑制を指導した。</li> <li>内水ハザードマップを公共施設2箇所に設置した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、規模開発を行う事業所に対して、雨水流出抑制の指導を行っていく。</li> <li>内水ハザードマップ未設置の公共施設に引き続き設置していくことで、下水道の能力を超える降雨時の浸水予測をより多くの市民に広報する必要がある。</li> </ul>	

中項目	3地震対策の推進		分野計画参照ページ	下水-59
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
公共下水道整備事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水及び汚水の公共下水道管の新設に伴い、管渠1305mが耐震化された。</li> <li>・人事異動等による組織体制の変更に伴い、職員の参集可能人員と災害対応時の配置について、時点修正した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震化を図るため、下水道総合地震対策計画を策定し、新しい材料や工法等の情報収集を進める。</li> <li>・職員の理解を深めていくとともに、実用性を重視した見直しを進める必要がある。</li> </ul>		

分野	上下水道	施策	下水道	
分野計画名称	上下水道ビジョン（下水道編）		行政経営戦略 参照ページ	P59

施策の展開（大項目）	3下水道サービスの維持・向上					
KPI （指標）	経常収支比率（公営企業会計）（下水道）					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値（令和7年度）
	減少抑制	103.9%	105.8%	106.8%		100%以上
KPI （指標）	経費回収率【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値（令和7年度）
	増加	94.6%	101.0%	100.5%		100%

中項目	1下水道事業の健全な経営		分野計画参照ページ	下水-60
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
一般事務事業 経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度決算を踏まえ、収支見通しを更新した。</li> <li>ストックマネジメント計画に基づき、資本的支出にて管渠内調査、管渠修繕を実施。収益的支出における修繕費を削減した。</li> <li>公共下水道事業債、流域下水道事業債及び資本費平準化債発行時に財政融資資金を活用した。</li> <li>令和2年度決算を踏まえ、2億2000万円を減債積立金に積み立てし、企業債元金償還金の財源として充当する等基準外繰入金を削減を図った。</li> <li>令和2年度決算を踏まえた経営戦略の振り返りを行った。</li> <li>令和3年度決算見込み及び令和4年度予算を踏まえ、経営戦略の見直しを行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度決算を踏まえた収支見通しにおいても、基準外繰入金は発生するものの、令和10年度までの計画期間中は黒字を確保できる結果となったが、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査費用及び修繕費用を収支見通しに反映し、計画期間中の利益水準を確認する必要がある。</li> <li>管渠費における委託料、修繕費の抑制、企業債利息の減少により経費回収率の目標値100%を達成することができたが、下水道使用料収入は減少傾向にあり、収益水準の動向を注視する必要がある。</li> <li>減債積立金の活用により、令和3年度基準外繰入金は経営戦略対比1億2,000万円削減することができたが、資本費平準化債発行可能額の減少により、基準外繰入金は前年度比+2.9%となった。次年度以降も資本費平準化債の発行可能額が減少するため、元金償還が大きく減少する令和6年度までは基準外繰入金が増加傾向となる。</li> <li>予算編成方針作成時に上下水道ビジョン及び経営戦略の見直しを行い、令和4年度予算要求に結果を反映する流れを想定していたが、スケジュールが後ろ倒しとなり、見直し結果を予算に十分反映することができなかった。翌年度はスケジュールを上下水道部全体で共有し、見直し体制の強化を図る。</li> </ul>	

<p>公共下水道管理事業 下水道事業課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府が主催する流域下水道不明水対策協議会に参加し、大阪府からの情報や関連市町の取組事例について情報共有した。</li> <li>・流域下水道及び公共下水道と、公共下水道の不明水対策について情報交換した。</li> <li>・下水道管渠内テレビカメラ調査を16.87km実施し、浸入水の程度が重度である管渠が5スパンあった。</li> <li>・過年度の調査結果で中度の浸入水であった下水道管渠3スパンの補修工事を実施した。</li> <li>・排水設備工事完了検査を251件実施した。</li> <li>・検査受付及び完了検査について、水道施設課給水装置係と連携して実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会を通じて、大阪府が進めている不明水対策等の情報を収集し、取組を進める必要がある。</li> <li>・下水道管渠内テレビカメラ調査を継続して行い、浸入水が発見された管渠については、ストックマネジメント計画に基づいて修繕、改築更新を実施していく必要がある。</li> <li>・管渠補修工事のデータを蓄積し、不明水対策の効果を検証していく必要がある。</li> <li>・排水設備工事完了検査時の誤接続は無かった。</li> <li>・水道施設課給水装置係との連携によって、効率的な検査体制を構築できている。</li> </ul>
-----------------------------	--	---

中項目	2人材育成などの推進		分野計画参照ページ	下水-62
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<p>一般事務事業 経営企画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異動職員及び新規採用職員を対象とした部内研修会及び上下水道部全職員を対象とした令和元年度決算報告会を開催した。</li> <li>・財務会計システム更新に向け、各業者からの情報収集を実施、収集の結果をもとに機能要件書、仕様書案を作成した。</li> <li>・料金徴収関連の包括民間委託の業務内容に下水道事業関連の収納を含めることについて、検討を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の動向に注視しながら、参加可能な外部研修には積極的に参加するとともに、研修報告会を通じて部内で共有を図る。</li> <li>・財務会計システム更新に向け、令和4年度にプロポーザルによる業者選定を行うとともに、更新後のシステムの運用方法を決定する。</li> <li>・水道事業と下水道事業で、災害発生時に想定される事象や対応に違いがあり、現時点では統合は困難である。水道事業危機管理計画、下水道業務継続計画の内容を踏まえて、上下水道部全体の災害体制を構築する必要がある。</li> <li>・料金徴収関連の包括委託に下水道事業関連の収納を含める方向で仕様書案の調整を行う。</li> </ul>	

中項目	3広報活動の充実		分野計画参照ページ	下水-63
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<p>一般事務事業 経営企画課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、出前講座の依頼はなかった。</li> <li>・デザインマンホール制作に向けて、プロジェクトチームを発足、大阪成蹊大学との提携や市のインスタグラムを活用する等、デザイン募集案を議論した。</li> <li>・環境フェスティバルに出展し、アンケートを実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、各種イベントが中止となり、活動はできなかった。</li> <li>・ガランド水路を活用したふれあいイベントについて、昨年度の提案内容に基づき、実施に向けた検討を行ったが、資材の搬入、設置場所等の問題があり、実現困難であるとの結果となった。</li> <li>・ホームページのデザイン等について、他市事例の収集を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等については、当面は依頼がないことが考えられるため、WEB形式での講座開催や、ホームページや広報誌を活用した新たな取組の検討が必要である。</li> <li>・デザインマンホールに使用する蓋の種類については、費用対効果、デザインの柔軟性を勘案し、候補の絞り込みを行うことができた。</li> <li>・今後はデザイン案の作成やマンホールカード制作を進める。</li> <li>・環境フェスティバル再開に向けて、デザインマンホールを活用した新たな展示内容を検討する。</li> <li>・他市事例を参考にしながら、市民に伝わりやすい手法を検討する。</li> </ul>	